

広報紙

秀友便り

ホームページ

<https://www.shuyukai.or.jp/>



発行：医療法人秀友会 札幌秀友会病院
住所：札幌市手稲区新発寒 5 条 6 丁目 2-1
電話：011-685-3333

Instagram



Facebook



LINE



札幌秀友会病院からのお便り



準個室が設置されました

札幌秀友会病院では、2025 年 8 月より、病棟に準個室（有料）を準備いたしました。4 人部屋をパーティションで区切り、プライバシーに配慮した病室で、安心して療養いただけます。2 病棟（地域医療病棟）では 6 人部屋を 4 人部屋としておりますので、他病室より広い環境でご利用いただけます。また、3 階フロアーには専用浴室・トイレ（ユニットタイプ）設置の完全個室もありますので、どちらかの個室をご希望される方は職員までお申し出ください。〈文責：澤田〉



ミャンマーからの技能実習受け入れ

札幌秀友会病院では、「外国人技能実習制度」に基づき、2024 年 4 月よりミャンマーから、2 名の技能実習生の受け入れを行っております。

更に、2025 年 10 月よりミャンマーから新たな技能実習生 2 名が仲間入りいたしました。合計 4 名が回復期リハビリテーション病棟で、介護助手として勤務し、技能の習得に励んでおります。不慣れな点もありますが、当院をご利用の皆様におかれましては、あたたかく見守っていただけると幸いです。〈文責：澤田〉





医療法人秀友会グループからのお便り

手稲区第 1・第 2 地域包括支援センター「手稲区認知症普及啓発イベント」開催

9 月 29 日に手稲区民ホールにて、手稲区第 1・第 2 地域包括支援センターの共催で「手稲区認知症普及啓発イベント」を開催し、102 名の方がご参加されました。今回は、認知症になっても希望を持って暮らしていけることを発信する「ほっかいどう希望大使（認知症本人大使）」の横山弥生さんにお越しいただきました。

前半はインタビューを行い、ご自身の子どもの頃のお話や認知症と診断されてからのお話をお聞きしました。認知症と診断された時には「なんかおかしいと思っていたことが

『そうだったのか』と感じた」「落ち込んだり、これからどうしたらいいのかという気持ちもあった」、音楽活動を始めた時には「いつどうなるかわからないのであれば、今やれることをやっておかなくちゃ」という気持ちだったこと、



そして、今は理解ある友人とともに音楽活動や希望大使の活動を行っていることなど、たくさんのお話をうかがいました。今「認知症かも」と不安に思っている方に向けて「おかしいと思ったら相談を」というメッセージもいただきました。

また、横山さんの夫・光博さんの動画出演があり、診断の時には家族として「なるほど、やっぱり」という気持ちがあったこと、「（弥生さんが）楽しんでいるのを見るのが楽しい。新しいことにチャレンジさせてもらって楽しい」などのお話をうかがいました。光博さんがご友人から「一番苦しいのは家族だよ」と言ってもらった経験から、「（ご家族は）遠慮しないで『助けて』をいっぱい発信して専門家・いろんな人に頼むこと」というメッセージもいただきました。

後半は、現在 YAYOI 名義で歌手活動をされている横山弥生さんのコンサートがあり、素敵な歌声を会場の皆様と楽しみました。

参加された皆様からは「認知症であってもイキイキと生活できるという事が少しはわかった気がする」「自分がもし認知症と診断されたらまわりの人に知ってもらうことも大事だと認識した」などの感想がありました。

現在手稲区では、認知症普及啓発イベントや認知症サポーター養成講座、スマイルオレンジチーム（認知症の方やご家族、地域の方の拠点活動の場）など、認知症に関する様々な取り組みが行われております。今回のイベントもオレンジサポーターという地域のボランティアの皆様とともに開催しております。「認知症について知りたい」「一緒に活動していきたい」という方は、ご参加お待ちしております。また、認知症についてご相談がある方は、手稲区第 1・第 2 地域包括支援センターにご連絡ください。認知症に関する取り組み・地域包括支援センターの連絡先は、各センターのホームページをご覧ください。〈文責：嶋津〉

■手稲区第 1 地域包括支援センター

- URL : <https://www.shuyukai.or.jp/houkatsu-teine1/>
- Tel : 011-695-8000

• QR コード :



■手稲区第 2 地域包括支援センター

- URL : <https://www.shuyukai.or.jp/houkatsu-teine2/>
- Tel : 011-686-7000

• QR コード :



石狩市北地域包括支援センター 認知症カフェの取り組み

認知症カフェは、認知症のある方ご本人やご家族だけではなく、地域の皆さんが気軽に集い、コーヒーやお茶を片手におしゃべりや情報交換をする“地域の居場所”です。医療・福祉の専門職も顔を出し、時には個別相談につながり、ミニ講座を通じ認知症の知識を得たりすることもあります。

石狩市では、平成 29 年に石狩市北地域包括支援センターが初めて認知症カフェ「みなカフェ花川北」をオープンしました。「今日はなんの日？」コーナーで懐かしい話を語り合ったり、地域の大学生との交流の機会もあり、世代を超えてやさしいつながりが生まれます。参加者からは、「おしゃべりが楽しくて通っています」、「他の方の介護経験の話を聞いて気持ちが楽になりました」など、参加者同士の何気ない会話が孤立感を和らげ、家族同士のピアサポートが自然に行われることもあります。

地域の中に気軽に立ち寄れて、心がほぐれる居場所を作っています。
どうぞふらっと遊びに来てみて下さい。〈文責：菊地〉

開催要綱

- ・日 時： 毎月第3火曜日 13：30～15：30
- ・場 所： 石狩市総合保健福祉センターりんくる2階リハビリ室
- ・参加費： 無料

